

JOMF 派遣医師便り (2017. 4)



第 31 回心肺蘇生セミナーを開催しました

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

2017年3月18日、第31回心肺蘇生実習セミナーを開催しました。6名の方が受講し、訓練用マネキン人形を使いながら心肺蘇生術や AED（体外式除細動器）使用法などを学びました。現在セミナーは在フィリピン日本大使館医務官の横山章先生と共に開催していますが、2012年4月に第1回セミナーを開催して以来300名余りの方々が参加されています。

参加した方々は“急変時の対応”を学びました。
心肺停止とはどのような病態か、患者に何が起きているのか？
心停止、呼吸停止をどのようにして判断するのか？
心肺蘇生をいつ開始すべきか？いつまで続けるのか？
意識が戻ったらどうするのか？意識が戻らなければどうするのか？

具体的には、

- ・心停止、呼吸停止の確認方法、心臓の位置確認、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行う心臓の位置確認、有効な胸骨圧迫の速さ・深さの確認。
- ・有効な人工呼吸はどのように行うのか、何回呼吸を吹き込むのか、1回に吹き込む時間は？
- ・AEDは何をする機器か、体のどの部位に装着するのか、いつ電気ショックをONにするべきか、ONにすると患者に何が起るのか？

参加した方々はこれらの理論と実習を学び、終了後に「参加証明証」を受け取りました。おめでとうございます。

大災害や病気などで家族や友人が急変をした時あなたには何ができますか？

プールで溺れた時、赤ちゃんの反応がないとき、ゴルフ場で突然倒れた時、事故や外傷で意識がなくなったとき、胸が苦しいと訴えたまま意識がなくなったとき、頭が割れるように痛いと言って反応がなくなったとき・・・傍にいるあなたには何ができますか？

マニラの医療事情は日本と大きく異なります。救急時の医療事情も大きく異なります。

緊急時においては、皆さんが“行わなければならないこと”をしなければなりません。これからもセミナーを継続していきたいと思っています。ぜひご参加ください。

2017年4月10日記